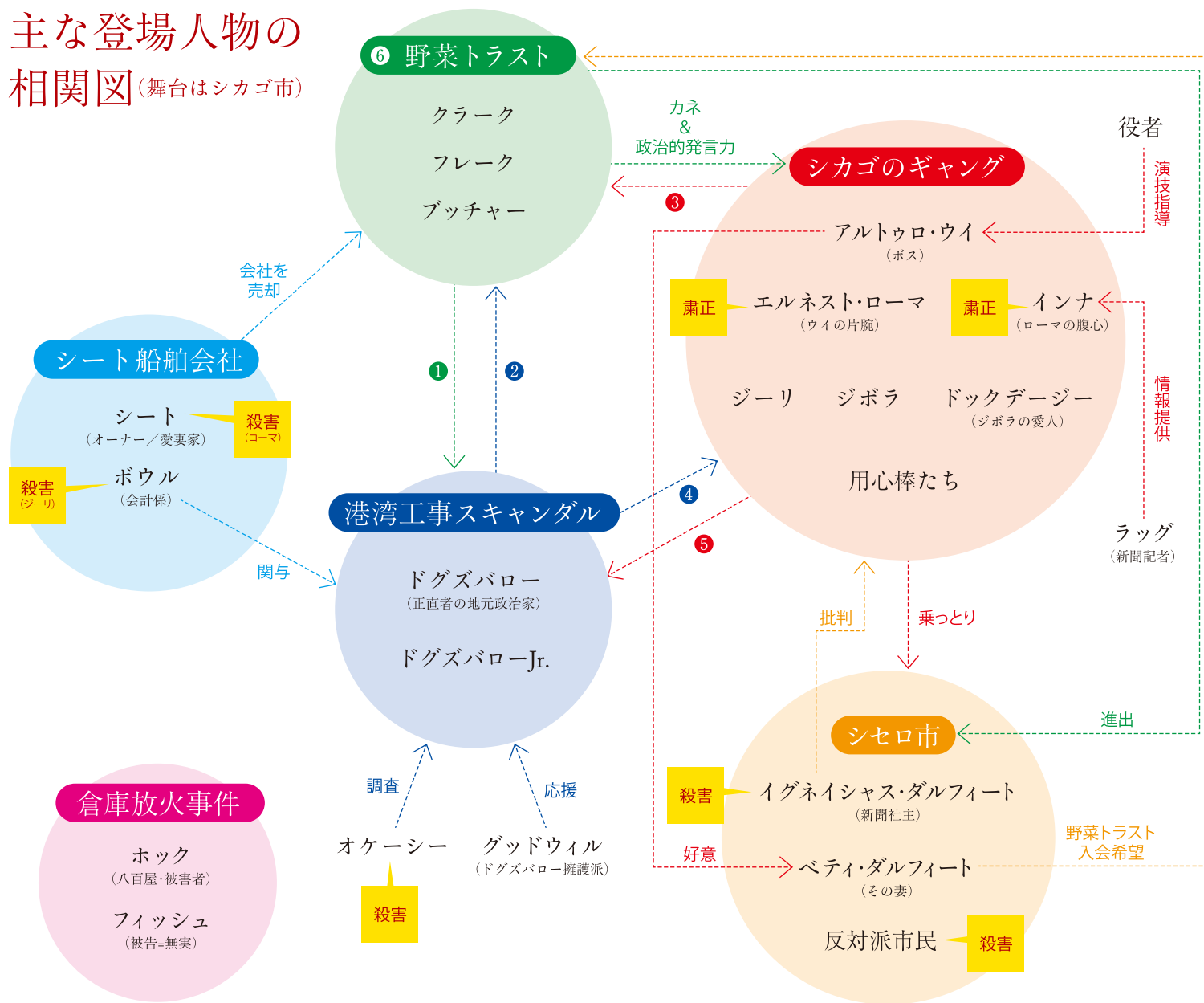


主な登場人物の 相関図 (舞台はシカゴ市)



補足説明

- ① シート船舶会社の株を格安で譲る
- ② 市債公庫の貸付を口利きする
- ③ 野菜販売業界の独占を擁護する
- ④ スキャンダルのみ消しを依頼
- ⑤ 警察・司法権力からの保護を依頼
- ⑥ **トラストとは…**

市場の利益独占と企業の合理化・資本の合併を目的としてとられる企業合同の形態。この物語の中では、シカゴ市の野菜卸売り販売業を彼らが独占し、野菜の値段を自由に決めているため、小さな八百屋を営む商人たちは高価な野菜を彼らから買わざるを得ない。

人物・事項対照表

ギャングを扱った歴史劇『アルトゥロ・ウイ』では、1932年～1938年のドイツの歴史がパラレルに映し出されています。

シカゴ市→ドイツ
シセロ市→オーストリア
ドグズバロー→ヒンデンブルク (大統領)
アルトゥロ・ウイ→ヒトラー (ナチス・ドイツ総統)
ローマ→レーム (ナチス・突撃隊幕僚長/ヒトラーによって粛清される)
ジーリ→ゲーリング (ナチス・ドイツ幹部/空軍総司令官等)
ジボラ→ゲッベルス (ナチス・ドイツ宣伝相)
フィッシュ→ファン・デア・ルッベ (オランダの共産主義者)
ダルフィート→ドルフース (オーストリアの独裁者/ナチスに抵抗)
野菜トラスト→土地貴族と実業家
八百屋→小市民
ギャング→ファシスト
港湾施設工事援助スキャンダル→東部援助スキャンダル
倉庫放火事件→国会議事堂放火事件